

科目名	予防指導 1							年度	2026
英語科目名	Preventive guidance 1							学期	前期
学科・学年	柔道整備科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	加藤健太	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整備師(接骨院にて勤務経験あり)		

【科目の目的】

環境や行動を社会的に整え国民の健康を守る社会防衛機能としての保健医療活動を学ぶことも柔道整備師の責務の一つであるため、この科目を通して公衆衛生分野の知識を習得することを目的とします。

【科目の概要】

健康に生活する上で必要な知識と情報を学びます。

【到達目標】

柔道整備師が予防と健康増進にいかにかかわることができるかを各項目ごとに学ぶ。予防指導は、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術であり、学ぶ内容としては環境衛生、感染症予防、健康教育、医療・看護サービスによる疾病の早期診断と悪化防止、衛生行政、医療制度および社会保障などを理解することが到達目標となる。

【授業の注意点】

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	衛生行政と統計について完全に理解している。	衛生行政と統計について大体理解している。	衛生行政と統計について部分的に理解している。	衛生行政と統計について理解が不十分である。	衛生行政と統計について理解していない。
到達目標 B	健康の定義と概念について完全に理解している。	健康の定義と概念について大体理解している。	健康の定義と概念について部分的に理解している。	健康の定義と概念について理解が不十分である。	健康の定義と概念について理解していない。
到達目標 C	健康指標について完全に理解している。	健康指標について大体理解している。	健康指標について部分的に理解している。	健康指標について理解が不十分である。	健康指標について理解していない。
到達目標 D	疾病予防の段階と健康管理について完全に理解している。	疾病予防の段階と健康管理について大体理解している。	疾病予防の段階と健康管理について部分的に理解している。	疾病予防の段階と健康管理について理解が不十分である。	疾病予防の段階と健康管理について理解していない。
到達目標 E	感染症発生の三大要因とウイルス感染症について完全に理解している。	感染症発生の三大要因とウイルス感染症について大体理解している。	感染症発生の三大要因とウイルス感染症について部分的に理解している。	感染症発生の三大要因とウイルス感染症について理解が不十分である。	感染症発生の三大要因とウイルス感染症について理解していない。

【教科書】

使用教科書「衛生学・公衆衛生学」、その項目ごとに必要な資料をプリントとして配付する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		予防指導 1			年度	2026
英語表記		Preventive guidance 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	衛生行政と統計	国内外の衛生行政と各種統計について。	1 衛生行政機関	WHO、厚生労働省、保健所について理解する。	3	
			2 統計の原則	統計と調査の分類について理解する。		
			3 人口統計	国勢調査と人口動態五事象について理解する。		
2	衛生統計と健康の概念	衛生統計の代表と健康の定義について。	1 衛生統計	患者調査と国民生活基礎調査について理解する。	3	
			2 健康日本21	根拠法令とその目的について理解する。		
			3 健康の定義	内容について理解する。		
3	健康の概念①	障がい概念や生活習慣病の定義について。	1 国際生活機能分類	ノーマライゼーションについて理解する。	3	
			2 生活習慣病の定義	メタボリックシンドロームについて理解する。		
			3 慢性疾患と生活	栄養、運動、休養、飲酒、喫煙について理解する。		
4	健康の概念②	健康指標①について。	1 死亡をもとにした指標	死亡率、年齢調整死亡率、乳児死亡率、PMIについて理解する。	3	
			2 平均余命と平均寿命	わが国の平均寿命と健康寿命について理解する。		
			3 原因別死亡率	わが国における主要4大死因について理解する。		
5	健康の概念③ 疾病予防と健康管理①	健康指標②疾病予防の段階について。	1 出生をもとにした指標	出生率、合計特殊出生率、再生産率について理解する。	3	
			2 一次～三次予防	ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチについて理解する。		
			3 特異的予防	予防接種について理解する。		
6	疾病予防と健康管理②	加齢・生活習慣と疾病、集団検診について。	1 QOLについて	終末期医療とインフォームドコンセントについて理解する。	3	
			2 健康診断と検診	集団検診について理解する。		
			3 健康管理の技法	判定基準の問題点について理解する。		
7	感染症の予防①	感染症予防で用いられる用語について。	1 感染症とは	病原性、感染源、感染経路について理解する。	3	
			2 患者と保菌者	顕性感染と不顕性感染について理解する。		
			3 抵抗力	感受性指数と日和見感染について理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義を振り返る。	1 衛生行政と統計	WHO、厚生労働省、保健所、統計と調査について理解する。	3	
			2 健康の定義と予防の段階	WHOの健康の定義、第一次～第三次予防について理解する。		
			3 感染症の用語	感染症予防に用いられる用語について理解する。		
9	感染症予防②	感染症成立の三大要因について。	1 感染源	保菌者の分類について理解する。	3	
			2 感染経路	飛沫感染と飛沫核感染について理解する。		
			3 感受性宿主	後天性免疫の分類について理解する。		
10	感染症予防③	病原体の分類・ウイルス感染症・気道疾患を起こすウイルス感染症①について。	1 病原体の分類	ウイルス、細菌、原虫、寄生虫、真菌について理解する。	3	
			2 ウイルス感染症	特徴、区分、種類について理解する。		
			3 気道疾患	インフルエンザ、RS、ライノ、コロナについて理解する。		
11	感染症予防④	気道疾患を起こすウイルス感染症②・神経疾患を起こすウイルス感染症①について。	1 気道疾患	アデノ、麻疹、水痘、風疹について理解する。	3	
			2 神経疾患	狂犬病について理解する。		
			3 蚊が伝播する感染症①	日本脳炎とウエストナイル熱について理解する。		
12	感染症予防⑤	神経疾患を起こすウイルス感染症②について。	1 蚊が伝播する感染症②	黄熱、デング熱、チクングニア熱、ジカ熱について理解する。	3	
			2 感染後脳炎	インフルエンザ、麻疹、水痘、ムンプス、風疹について理解する。		
			3 接種後脳炎と遅発型感染症	ADEM、SSPEについて理解する。		
13	感染症予防⑥	ヘルペスウイルス感染症について。	1 ヘルペス8種	HSV-12、EBウイルス、サイトメガロウイルスについて理解する。	3	
			2 ウイルス性肝炎	分類、日本に多い肝炎ウイルスとその特徴について理解する。		
			3 AIDS	世界の三大感染症、感染経路、日本の動向について理解する。		
14	振り返り	第9回～13回までの講義の振り返り。	1 感染症とは	感染症で用いられる用語と発生の三大要因について理解する。	3	
			2 気道疾患	インフルエンザ～風疹について理解する。		
			3 神経疾患	蚊が伝播する感染症について理解する。		
15	総まとめ	前期第1回～14回までの振り返り。	1 WHO	健康の定義について理解する。	3	
			2 予防の段階	第一次～第三次予防について理解する。		
			3 感染症の予防	用語、気道疾患、神経疾患について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、55. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等